

平成21年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
5 - 4	中原区青少年吹奏楽コンサート	継続	平成2年	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	中原区青少年吹奏楽コンサート 実行委員会		対象者	中原区内全中学校・高等学校 吹奏楽部、ゲストバンド		当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他( )		関連事業局 ・事業内容			
目的及び内容	音楽を通じ、情操豊かで創造性溢れる青少年の育成を図り、校外生活の善導に資するとともに、文化の薫り高いまちづくりを推進することを目的に、区民との協働により、中原区内の全中学校・高等学校吹奏楽部を対象とした吹奏楽コンサートを開催する。					
予算額	2,490,000(円)	決算額	2,424,635(円)	不用額	70,365(円)	
不用の理由						
結果・成果	<p>【事業実施状況・成果物などの写真等】</p>  <p>(区内6校有志による合同演奏)</p>		<p>演奏はもちろんのこと、衣装・振付けなどにおいても各校それぞれが個性を活かした演奏を披露し、観客である区民・生徒の家族・音楽ファンの目を楽しませた。とくに、各校有志の生徒による合同演奏では、20周年を記念し「なかはらの歌」を演奏。会場を盛り上げた。</p> <p>当日は、舞台転換・場内整理・入口での案内など、実行委員が生徒に指示をしながら運営をし、演奏者としてコンクール等に参加する機会が多い生徒達に、主催者として地域イベントの運営を体験する社会勉強の機会を提供することができた。</p>			
			実施時期 (開催日/回数等)	11/3(火・祝)	参加 人数等	1,277人

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
<p>参加する生徒にとっては、他校の演奏やゲストバンドの演奏を聞くことが出来る貴重な機会であるとともに、特に合同演奏においては、学年を問わず他校の生徒と演奏を通じてのふれあいがあり、青少年の心身の成長を促進する機会を提供できている。また、本事業は区民にとって気軽に音楽を楽しめるイベントであるとともに、単なる音楽イベントではなく、音楽を通じ地域の青少年の成長する姿を見られるイベントであるという点が、地域に対し青少年の健全育成を訴え、毎年客席が満席に近くなることから、区として本事業の集客力と必要性を感じる事業である。実行委員と生徒と一緒に運営を行う点も、青少年の健全育成という事業の目的にかなっており、実行委員会の手により社会体験の機会が提供される点で、地域におけるボランティア精神を養う貴重な機会だと評価できる。</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	現状のまま充実した内容で継続し、企画・運営へのさらなる青少年の参加を図り、青少年が主体となり実施するコンサートへ近づくことで、青少年に対するさらなる体験機会の提供と、ひいては健全育成を推進する。	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

区民会議からの主な意見

--

平成21年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
5 - 5	中原区役所コンサート事業	継続	平成5年度	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	中原区役所地域振興課		対象者	一般区民		当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他( )		関連事業局 ・事業内容			
目的及び内容	ランチタイムにクラシックやジャズ等の音楽を気軽に楽しんでもらい、親しまれる区役所を目指すとともに中原区内における音楽のまちづくりを推進する。 開催時には保育ボランティアによる幼児の一時保育を実施し、普段気軽にコンサート会場に足を運べない客層にも幅広く来場を呼びかける。					
予算額	2,044,000(円)	決算額	1,998,818(円)	不用額	45,182(円)	
不用の理由	会場を変更して開催した際、会場設営の人員費が不要になったことによる。					
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】 		中原区役所5階会議室で5月、6月、8月、10月の4回、中原市民館2階ホールで12月、川崎市平和館屋内ホールで3月に実施、計6回開催した。 8月には100回記念として、初の土曜日開催と開催時間の延長を試みた。また、12月と3月には開催場所を変更し、同時に来場者アンケートを実施した。これにより、今後の区役所以外の会場での開催を含めたコンサート形態を検討する礎とした。 開催の内容としては、クラシックから民俗音楽・ジャズといったジャンルまで、幅広い提供を行った。			
	(8月開催の100回記念公演)		実施時期 (開催日/回数等)	年6回	参加 人数等	毎回250人程度

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
<p>中原区役所コンサートは、「音楽のまち・かわさき」をうたう市の取り組みに寄与する事業であるといえる。また、予約不要の無料コンサートであることや、幼児の一時保育を受け付けていることにより、幅広い客層に気軽に参加していただくという趣旨に合致している。</p> <p>平成21年度は100回記念を迎えたこともあり、今後のコンサート形態の検討をするため、開催場所や開催時間の変更を試みた。開催場所を変更した際に聴取したアンケート調査によると依然として区役所での開催を望む声が多数を占めるものの、ランチタイム以外や区役所以外での開催を希望する声もあった。こうした声が聴取できたことで、今後のコンサート開催形態を検討するための貴重なデータとして役立てることができる。</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	アンケート調査によると、半数以上の観客がリピーターであることが判明しており、本事業が浸透していることが分かる反面、固定された客層に提供し続けているとも言える。今後は年2~3回の開催場所変更や時間変更をニーズに合わせて行い、より幅広い区民に提供できるよう進める。	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

区民会議からの主な意見

--

平成 2 1 年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番 号	事 業 名	新規・継続	開始年度	所管課
5 - 6	In Unity 開催事業	継続	平成 1 1 年	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	中原区音楽ライブ実行委員会	対象者	区民	当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他 ( )	関連事業局 ・事業内容		
目的及び内容	アマチュアバンドやダンスユニットが日頃の活動の成果を発表し、音楽を通じて幅広い地域間・年齢層の人々が交流することを目的として区民の手作りによる音楽ライブを開催する。 In Unity2010 と、その公開オーディションであり、出演者を高校生に限定した NAKAHARA MUSIC FES2009 を実施し、2 月には商店街と連携してオープンカフェ、3 月には区役所コンサートと連携した P R イベントを開催した。			
予算額	1,800,000 (円)	決算額	1,799,770 (円)	不用額 230 (円)
不用の理由				
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】 	NAKAHARA MUSIC FES を出演者を高校生に限定して開催して若い世代に発表の場を拡大し、商店街と連携したオープンカフェはより地域に密着することを目指し、区役所コンサートでは比較的高齢の方にインユニを P R した。 In Unity2010 のホームページへの掲載、マスコミへの宣伝、成人の集いでの P R を行い、フラッグ・チラシの作成等全て実行委員による手作りの音楽ライブを開催した。		
	フラッグ、スタッフと一緒に熱演	実施時期 (開催日/回数等)	3月14日(日)	参加 人数等 900人

2 事業評価

評価の結果と理由 (緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
中原区に関わりを持つアマチュアバンドやダンスユニットに発表する場を提供することは、区内の音楽活動を活発化する。また、オープンカフェ、P R イベント等の活動により音楽ライブを多くの区民に周知し参加してもらうことは、地域・世代間の交流を促進する。そして音楽ライブを若者中心の委員会が手作りで区民に提供することは、市民活動としては珍しい若い世代との協働という意味で有意義である。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	次年度以降は、より地域に根ざし、世代間交流を図ることができる音楽ライブとなるような運営を心掛けていく。	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

区民会議からの主な意見

--

平成21年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
5 - 7	中原街道歴史シンポジウム事業	継続	平成15年	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	NPO 法人日本伝統文化福祉振興協会		対象者	一般区民		当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他 ( )	関連事業局 ・事業内容	なし			
目的及び内容	郷土史研究者らを交えて中原街道を始めとする区内の歴史についてのシンポジウムを開催し、当時の生活や文化などの歴史を学ぶ機会を創出し、区民の郷土意識の醸成に繋がるような事業を実施する。					
予算額	1,100,000 (円)	決算額	1,100,000 (円)	不用額	0 (円)	
不用の理由						
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】					
	 <p>(鷹狩り実演の様子)</p>		<p>川崎市市民ミュージアムにて、[江戸時代の多摩川の交通と生活]をテーマとして「多摩川と渡し」の基調講演に始まり、4名の大学教授や専門分野の研究者をパネリストとした講義を開催した。</p> <p>また、屋外アトラクションとして「放鷹術」をグラウンドで実施した。</p>			
	実施時期 (開催日/回数等)	5月24日(日) 1回	参加 人数等	300名		

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
<p>大型マンション住民をはじめとした新たな住民が増えている中原区にあって、中原街道その他の中原区に関わる歴史について、当時の暮らしや社会情勢・時代背景を学ぶことは郷土意識の醸成に寄与する地域に密着した事業といえる。</p> <p>放鷹術の実演は、「中原街道時代まつり」の会場の中で行われ、当時の「将軍のお鷹狩り」を連想させ、新しく区民になられた方々への魅力発信や先人の歴史や街道筋の生い立ちに触れる格好の機会となっている。</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	講演会については、区民の関心が高く盛況だが、テーマの選び方に工夫の必要がある。 中原街道時代まつりの会場で行われる放鷹術については、鷹を間近に見られる貴重な体験ができる。しかし、時代まつり事業とシンポジウム事業の線引きが、必ずしも明確ではないので、時代まつり事業の主催者との調整の必要がある。	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

区民会議からの主な意見

--

平成21年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
5 - 8	歴史と緑の散策コース案内板設置事業	継続	平成20年度	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	中原区役所地域振興課		対象者	区 民		当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他 ( )	関連事業局 ・事業内容				
目的及び内容	平成18年度の協働推進事業でなかはら20年構想委員会が作成した「なかはら歴史と緑の散策マップ」の完成に合わせ、区内の名所や史跡を巡る際の道標となる案内板を設置する。 3ヶ年で散策マップに記載したコース全般にわたって設置できるように計画的に進めていく。 21年度は東急東横線元住吉駅西口及び東口に1基ずつ設置を行った。					
予算額	1,208,000(円)	決算額	1,208,000(円)	不用額	0(円)	
不用の理由						
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】					
	 <p>元住吉駅東口設置の散策案内板</p>		<p>平成19年度、平成20年度に設置した区内5箇所の駅に続き、平成21年度は東急電鉄元住吉駅に設置した。</p> <p>設置にあたっては、元マップの作成に寄与した「なかはら20年構想委員会」と検討し、掲載範囲の確認を行なった。また、設置場所周辺の町会を始めとして商店街及び国際交流センター及び平和館と打ち合わせを行い、利用者が活用しやすいものになるよう工夫をした。</p>			
	実施時期 (開催日/回数等)	通年	参加 人数等			

2 事業評価

評価の結果と理由 (緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
<p>設置を行なうにあたり、記載内容やデザインについて周辺町内会、商店街、区内公共施設と打ち合わせを行い、地元住民の要望を可能な限り反映したものを設置することができた点は効果的であった。また、散策案内版に設置場所の詳細図及び平和館、国際交流センターの導線を掲載することにより、散策コース以外にも区内公共施設の利用促進を促す点で有効的なものとなった。</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	新規転入者及び横須賀線新駅の利用者を中心とした区民に中原区の魅力を発信し、まちが活性化することを目的として、小杉駅に設置を行なう。	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

区民会議からの主な意見

平成 2 1 年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番 号	事 業 名	新規・継続	開始年度	所管課
5 - 9	区役所庁舎内飾花事業	継続	平成 1 1 年度	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	中原区文化協会		対象者	来庁者	当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他 ( )	関連事業局 ・事業内容			
目的及び内容	中原区役所庁舎内に年間を通じて生け花を展示し、来庁者が親しみやすさを感じられるような区役所の雰囲気作りを行う。				
予算額	300,000(円)	決算額	300,000(円)	不用額	0(円)
不用の理由					
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】 		中原区文化協会の華道部 5 流派が交代で各々の作品を毎週月曜日から金曜日まで区役所 1 階に花を生けている。 毎回質の高い花が展示されるとともに、季節によって生ける花の種類や彩りが変わることによってフロアに季節感を与えている。		
	(区役所 1 階区民課 6 番窓口前)		実施時期 (開催日/回数等)	通年 (毎週交代)	参加 人数等

2 事業評価

評価の結果と理由 (緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
<p>区役所 1 階の展示場所に、季節感のある新しい花を毎週生けることは、来庁者にやすらぎを与え、区役所の親しみやすい雰囲気作りをすることができる点で有意義である。</p> <p>中原区文化協会は生け花に精通し、事業の趣旨にも賛同して毎回質の高い作品を、安定、継続的に展示している。また、来庁者の中には、花を背景に写真に撮る人も見られるなど、本事業は成果を挙げていると考える。</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	本事業は上記のような成果が見られることから今後も継続する。	B

優先度が：A 非常に高い、B 高い、C 高いとはいえない

区民会議からの主な意見

--

平成21年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
5-10	中原区役所施設内ウッドデッキ補修事業	新規	平成21年度	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	中原区役所		対象者	一般区民		当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他( )	関連事業局 ・事業内容				
目的及び内容	中原区役所正面玄関ウッドデッキの老朽化が著しく、釘が露出して危険な状態のため、これを撤去し適法に処分したうえで、新規にステンレス製のビスを設置しウッドデッキを改修する。					
予算額	229,950(円)	決算額	229,950(円)	不用額	0(円)	
不用の理由						
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】		中原区役所正面玄関ウッドデッキの老朽化したビスはステンレス製のビスに交換され、区民や幼稚園児の憩いの場の安全が確保された。			
	 <p>正面玄関ウッドデッキ</p>		実施時期 (開催日/回数等)	3月12日	参加 人数等	

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
<p>中原区役所正面玄関ウッドデッキは、花壇に隣接し区民の憩いの場、小児の遊び場となっており、老朽化したビスが露出した状態を至急是正する必要があった。</p> <p>改修工事により老朽化したビスは撤去され適法に処分され新品のステンレス製のビスに交換されたため、ウッドデッキの安全性は確保された。</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	本事業は上記のような成果が見られたことから終了する。	

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

区民会議からの主な意見

--

平成21年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
5-11	中原区魅力紹介冊子作成事業	新規	平成21年度	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	なかはら散策ガイドの会	対象者	一般区民	当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他( )	関連事業局 ・事業内容		
目的及び内容	再開発や横須賀線武蔵小杉駅開業により中原区に新たな住民が増加する中で、中原区内の観光スポット及び散策コースを区民に広く知ってもらい、中原区の魅力を共有して地域に愛着を持ってもらうため、読みやすく持ち歩きやすいガイドブックを作成する。			
予算額	959,636(円)	決算額	959,636(円)	不用額 0(円)
不用の理由				
結果・成果	 <p>(作成した冊子「なかはらが好き」)</p>		<p>市民団体との協働、地域の方々の資料提供などの協力によりガイドブックを作成することで、中原区の魅力を発見し地域を見つめ直すきっかけとした。</p> <p>再開発等で新たに中原区民となった方々にも読んでいただき、地域に愛着、誇りを持ってもらえるようにした。</p>	
	実施時期 (開催日/回数等)	3月19日	参加 人数等	

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
<p>再開発や横須賀線武蔵小杉駅の開業に伴い新たに中原区民となられる方が多くいることから、中原区区民会議の「まちの魅力を見つける」をテーマにして中原区の魅力を発見、共有することは地域への愛着を深めることにつながるとの議論を受け、中原区内の魅力を載せたガイドブックの作成を決定した。</p> <p>新駅開業イベントと合わせた発行を目指し、製作期間2ヶ月という厳しい条件のもと市民団体と協働で地域に長く住む住民の資料提供等の協力を得ながらガイドブックを作成及び、新駅イベントをはじめ区内各所で配布したことは、ガイドブック作成の目的である中原区の魅力を区民に広く知らしめること及び地域に愛着、誇りを持ってもらうことを達成していると考えます。</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	本事業は上記のような成果が得られたため終了する。	

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

区民会議からの主な意見

--

平成21年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
6-1	まちづくり推進実践活動支援事業	継続	平成11年度	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	中原区まちづくり推進委員会		対象者	一般区民		当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他( )		関連事業局 ・事業内容			
目的及び内容	<p>区づくり白書「もっとすてきになかはら」の実現のために、地域からの推薦・公募による委員により組織された委員会が、2つの部会(課題発見・解決部会、支援・広報部会)を通して地域の課題に対して取り組む実践活動を支援することを目的としている。また、区民交流センター「なかはらっば」の管理・運営の協定先として、区内諸団体の中間支援組織としての活動に対して事務的な援助を行うことを目的としている。</p> <p>活動に関しては、より効果的・実践的な展開を狙い、広報物のデザインや運営に関する助言を専門家に依頼する。</p>					
予算額	3,048,000(円)	決算額	3,025,390(円)	不用額	22,610(円)	
不用の理由						
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】		<p>課題発見・解決部会として、まちなかのマナー・モラルを向上させることを目的としたマナー・モラルポスターの募集・掲示、誰もが安心して通れる地下道作りと維持、昔遊びや新しい公園の模索を通じた地域・世代間交流の促進を行った。</p> <p>また、支援・広報部会として、市民活動団体や一般区民の交流の場作りとしての「月イチ!まちづくりサロン」の開催、委員会活動や区内のまちづくり情報の発信手段としての「まちづくり通信」の発行や「HPナプロコ」の運営、写真を通じた区内の魅力発信を目的とする「まちふぉと倶楽部」の活動を行った。</p>			
	 <p>(月イチ!まちづくりサロンの様子)</p>		実施時期 (開催日/回数等)	通年	参加 人数等	

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
<p>平成21年度に行った取り組みとして、主に以下のような新たな成果を挙げた。</p> <p>課題発見・解決部会では、マナーアップ意見交換会を開催し、地域における様々な世代の参加者と共にマナー・モラルについて話し合い、報告書としてまとめた。</p> <p>支援・広報部会では新しく立ち上がった「まちふぉと倶楽部」と広報グループが連携し、カラー版の広報物により区内の魅力発信を効果的に行った。また、区民交流センター登録団体の紹介冊子を作成し、各団体の広報について支援することで、中間支援組織としての活動を推進することができた。</p> <p>また、地域振興課と連携して区民交流センターの区民による運営体制の立ち上げに尽力した。</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	<p>今後は地域の諸団体・企業とも連携し、実践活動部隊として限られた人数の中でより効果的に活動を拡大していく。</p> <p>また、区民交流センターの運営委託先として、本センターを拠点とした効果的な地域団体支援を行っていく。</p>	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

区民会議からの主な意見

--

平成21年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
6 - 2	20年後を考えたまちづくり実践事業	継続	平成15年度	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	なかはら20年構想委員会		対象者	区 民		当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他 ( )	関連事業局 ・事業内容	まちづくり局			
目的及び内容	都市計画マスタープラン中原区構想区民提案の推進のために、委員会がマップの作成、まち歩き、花回廊づくり等の区民自らが実践できる活動を通して、都市構造や土地利用などの様々な方面から、魅力あるまちづくり推進にむけた活動を支援する。また、委員会活動をより効果的・実践的な活動として推進するために、作成物やワークショップの支援を専門家に依頼する。					
予算額	1,340,000(円)	決算額	1,303,474(円)	不用額	36,526(円)	
不用の理由						
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】 		平成20年度に作成した「小杉今昔ウォーキングマップ」を活用したまち歩き、パネル展示を行なうことにより、新規転入者を含め区民にまちの魅力や地域への関心を高めるきっかけづくりになった。 花回廊の協力・参加している団体に集ってもらい、パンジー会議を開催することにより、試行的に種から育ててもらうことによる花回廊の推進につながる契機づくりとなった。			
	市民館記念事業でのパネル展示		実施時期 (開催日/回数等)	通年	参加 人数等	

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
平成20年度に作成した「小杉今昔ウォーキングマップ」を活用したまち歩き及び市民館記念事業でのパネル展示を行なうことにより、新規転入者を中心とした区民にまちの魅力や地域への関心を高めることができ有意義な活動になった。 また、花回廊の協力・参加している団体が集まり、情報交換の場としてパンジー会議を開催することにより、今後の花回廊づくりの拡大につながる機会となった。また、地域交流促進イベントで花を設置することにより、団体間の交流及びイベント参加者へ区内に花の風景があることを知ってもらうとともに、花回廊協力団体が維持管理活動に日々尽力していることを知ってもらうきっかけとして効果的だった。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	再開発及び二ヶ領竣工四百年と連携した「歴史と緑の散策マップ」の改定を行なっていく。	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

区民会議からの主な意見

--

平成21年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
6-3	放置自転車対策のためのマナーモラル啓発事業	継続	平成13年度	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	自転車と共生するまちづくり委員会		対象者	区民		当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他( )	関連事業局 ・事業内容				
目的及び内容	委員会による月2回の早朝呼びかけ、各種イベントにおける自転車利用のマナーの啓発活動に対して活動の支援を行うとともに、自転車利用者や商店街利用者の立場から、駐輪場増設を提案するなど行政との協働事業として取り組んでいる。また、事業の実施に当たってより効果的に活動を行えるよう、啓発グッズのデザイン先進事例の研究について専門家に支援を依頼する。					
予算額	1,485,000(円)	決算額	1,484,152(円)	不用額	848(円)	
不用の理由						
結果・成果	 <p>(呼びかけ運動)</p>		<p>小杉駅周辺早朝放置自転車防止呼びかけや、各種イベントでのマナー教室、パンフレット配布等の啓発活動とともに、近隣地域と啓発グッズを連携して製作、配布し広く活動の協力者を募った。</p> <p>区民会議と連携した出張講座や、広報チラシを作成し、自転車問題に取り組むなどして、地域住民、商店街と行政が協働して自転車問題の解決を図りながら自転車との共生を目指した。</p>			
			実施時期 (開催日/回数等)	通年	参加 人数等	

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
<p>自転車と共生するまちづくり委員会が自転車利用のマナー啓発活動に取り組むことで、放置自転車を始めとする自転車問題に対して地域住民・企業・行政が協働で解決に向けた取り組みを行うことができた。</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	自転車マナーの啓発活動を継続しつつ、委員会のノウハウやグッズ提供などで武蔵小杉駅以外の駅及び周辺地域と協働して区全体に向けた自転車マナーの啓発活動を広げる。	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

区民会議からの主な意見

--

平成21年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
6 - 4	区民活動支援事業	新規	平成21年度	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	地域振興課、中原市民活動の集い実行委員会		対象者	各地域活動団体、一般区民		当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他( )		関連事業局 ・事業内容			
目的及び内容	<p>平成22年度から中原区民交流センター「なかはらっば」の窓口運営が登録団体の協力を得ることで行われる体制を整えるため、他都市における同様事例の研究や運営に関するスケジュールリングの相談役として専門家に依頼をすることで、協力団体募集への理解がスムーズに得られ、当初目的が支障なく達成できるよう図る。</p> <p>また、登録団体が実行委員会を立ち上げることによって行う「中原市民活動の集い(なかはらっば祭り)」を開催し、登録団体同士の交流と一般区民への市民活動周知を行う。</p>					
予算額	2,502,000(円)	決算額	1,858,498(円)	不用額	643,502(円)	
不用の理由	当初予定より専門家への委託期間が短縮されたことにより、それに準じて支払額が減少したため。					
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】		<p>専門家からのアドバイス、デザインをされた広報物を活用することにより、登録団体からの協力申し出をスムーズに取り付けることができ、平成22年度からの協力団体による輪番制の窓口運営につなげることができた。</p> <p>また、中原市民館において7月に「中原市民活動の集い(なかはらっば祭り)」を開催することで、一般区民に市民活動団体の日ごろの活動の成果を伝えられたと共に、イベントを登録団体同士が企画・運営することを通じて、団体間の交流を促進することができた。</p>			
	 <p>(登録団体への説明の様子)</p>		実施時期 (開催日/回数等)	通年 (集いは7月19日)	参加 人数等	約1000人 (集い来場者)

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
<p>区民交流センターの窓口が、行政からの直雇用の事務員から区民(登録団体)のボランティアによる輪番制へと移行したことは、中原区における市民活動拠点が自立した施設に近づいたという側面で非常に大きな意義がある。また、一般区民の憩いの場所という位置づけでもある当センターに区民が常駐(現状は月・水・金)していることは、自然と人が集まり交流できる場所というセンター設置の意図を推進したことになる。</p> <p>なかはらっば祭りの開催は、市民活動を一般区民に周知できるという意味もあるが、交流センター登録団体がイベントの準備、開催を通じて交流し合い、各自の視野を広げることができたと共に交流センターの活性化にも寄与したと言え、その役割は大きい。</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	本事業自体は、協力団体による交流センターの窓口が開始されたために終了することになるが、なかはらっば祭りの開催は「中原市民活動の集い開催事業」単独事業として、交流センターをさらに盛り上げるために登録団体の自立した企画・運営体制を強化して実施していく予定である。	

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

区民会議からの主な意見

--

平成21年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
6 - 5	窓口サービス改善事業	継続	H18	区民課

1 事業概要

事業実施主体	中原区役所		対象者	区民（来庁者）		当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営	一部委託	全部委託	関連事業局	その他（事業内容）	
目的及び内容	区役所を訪れる来庁者に対して、より質の高い窓口サービスが提供できる区役所を目指し、庁内の関係部署からなる「中原区サービス向上委員会」を設置。各課ごとの年間目標をたて目標に向けた窓口サービス改善等を実施するとともに、各課から推薦された「推進リーダー」により職員研修の実施、窓口環境の検討・改善を進めることで、区役所のサービス向上を図る。					
予算額	2,933,000円	決算額	2,843,774円	不用額	89,226円	
不用の理由						
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】		（研修） ・基本接客研修 ・サービス向上研修 （主な窓口環境改善） ・外国人向けフロア案内（6カ国語）の作成 ・保険年金課8番窓口のローカウンター化（保険年金課） ・窓口カウンターにご意見箱を設置（生涯学習支援課）			
	 <p>市民館利用者の意見・要望を聴き、館の管理運営に活かします</p>		実施時期 (開催日/回数等)	研修 11月25日~12月18日のうち計14回	参加人数等	約560名

2 事業評価

評価の結果と理由（緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること）
<p>研修については、「推進リーダー」を中心に、職員の関心が高く、窓口サービスの向上に関係が深いテーマ選定により、当該事業の目的は達成された。来年度以降も継続的なサービス向上が図れる研修内容の検討を行う。</p> <p>窓口環境関係については、外国人区民に対しても公平なサービスの提供が図れるように外国人市民対応マニュアルと6カ国語でのフロア案内を各窓口に整備した。来年度以降はフロア案内の更新・拡充や対応マニュアルの更新を行う。また、各課の取組では、保険年金課の一部窓口のローカウンター化や、生涯学習支援課での御意見箱設置による市民の意見・要望を聞き市民館の運営管理に活かすなどのサービス向上への取組を、各課ごとに目標をたて実施した。</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	「区役所サービス向上指針」に基づき、中原区役所サービス向上委員会を中心に、区役所サービスの向上に向けた、検討・取組を進める。	A

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

区民会議からの主な意見

--

平成21年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
6-6	中原区ホームページ事業	継続	H14	企画課

1 事業概要

事業実施主体	中原区役所	対象者	区民	当初予定事業 緊急対応事業	
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他( )	関連事業局 ・事業内容			
目的及び内容	<p>区の重要な広報手段の一つであるホームページを充実させ、区民などに最新の行政情報を提供し、ニーズに応えたページを作成することを目的とする。</p> <p>また、情報を発信する情報所管課職員を中心に、広報に対する意識を向上させ、主体的な広報活動が推進するために研修を実施する。更に、専門的知識を要する新規コンテンツの作成や既存コンテンツの再検討などを専門業者に委託する。</p>				
予算額	967,000(円)	決算額	966,735(円)	不用額	265(円)
不用の理由					
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】		年間を通じた作業を通じて区ホームページの全面的なリニューアルを行った。 目的別及びライフステージ別に情報を整理するとともに、検索を行えるようにした。		
	 (リニューアルしたホームページ)		実施時期 (開催日/回数等)	通年	参加 人数等 -

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)  今年度実施したリニューアルでは、視覚的な改善を行うとともに、情報の整理を行ったことで、区民がホームページ上でより情報を探しやすくなったものと考えられる。 また、市のコンテンツ管理システム(CMS)に対応するページとしたことで、職員が容易にホームページへ情報を掲出できるようになった。 中原区は、引き続き大規模開発などにより人口の増加が見られ、新規住民や転入予定者を始め、広く区民に積極的な情報発信を行うことは必要不可欠であり、その点において有効な事業だと考えられる。
--

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	インターネット上で区の情報発信をする基盤は整ってきているので、今後は職員の広報マインドを高めながら、区民が必要とする情報のニーズを把握しながら、発信する情報の質的向上を目指していく。	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

区民会議からの主な意見

--

平成21年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
6 - 7	区民交流センター・交流サイト運営事業	継続	平成20年度	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	地域振興課・企画課		対象者	各地域活動団体・一般区民		当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他( )	関連事業局 ・事業内容				
目的及び内容	<p>中原区内を拠点とする地域団体(町会・自治会等)や市民活動団体に対して、印刷機や会議スペースの貸し出しや、掲示板やホームページを利用した情報発信の支援を行うことにより、活動が活発に行われるようサポートをする。また、区役所5階に設置されている区民交流センター「なかはらっば」を、交流・憩いの場として各団体・一般区民に提供する。 センターの運営に際しては事務補助として週3日在籍する事務局員を雇うものとする。</p>					
予算額	2,811,000(円)	決算額	2,659,915(円)	不用額	151,085(円)	
不用の理由	事務局員(非常勤職員)が欠勤した分の給与差し引き額による					
結果・成果	<p>【事業実施状況・成果物などの写真等】</p>  <p>(区民交流センター公式サイト)</p>		<p>大量印刷に適した印刷機の貸し出し、無料での会議スペースの提供、掲示板やホームページによる情報発信の支援を随時行い、また必要に応じて技術的なサポートも行った。また、アンケートや利用者懇談会による声を受けて、印刷料金の支払い方法や利用機器の更新などを行い、より一層利用者の使いやすい場所とした。 事務局員を登用していることは安定したセンター運営や利用者へのサポート体制を築く上でも大きな役割を果たした。平成22年度からの区民による運営体制に向けて、運営を軌道に乗せたと言える。</p>			
	実施時期 (開催日/回数等)	通年	参加 人数等			

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
<p>印刷機や会議スペースの利用は、一般的な団体にとって自前での確保が難しく、こうした環境を提供することは区内の地域活動・市民活動の活性化に大きく寄与していると言える。また、インターネットが広く活用されている現況において、技術的な支援を含めてホームページを活用した広報支援を行うことは、市民活動に触れる機会の少ない若年層などに存在を知らせる手段となりうるという点でも有効である。 事務局員を窓口配置して2年目となるが、事務補助としての役割に加えセンターの活性促進に寄与したことは、平成22年度から登録団体による窓口運営が開始されるための土壌を作り上げたという意味においても有効であった。</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	平成22年度からは区民(登録団体)の輪番制による窓口体制がスタートすることから、随時区民の声を聴取し、会議室・フリースペースの備品の配置・レイアウト等を見直し、よりニーズに応えられる施設としていく。	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

区民会議からの主な意見

--

平成21年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
6 - 8	市民提案型事業	継続	H19年度	企画課

1 事業概要

事業実施主体	企画課		対象者			当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営	一部委託	全部委託	関連事業局 ・事業内容	市民・こども局	
その他( )						
目的及び内容	地域社会が抱える課題解決のための事業提案を市民から募集し、参加と協働によるまちづくりを推進することを目的に、市が策定した「協働型事業のルール」の概念に基づき、区役所を地域における協働の窓口として、地域における市民活動の支援を行う。					
予算額	1,623,000(円)	決算額	1,324,380(円)	不用額	298,620(円)	
不用の理由	提案を受けた事業の予算が想定より低く実施されたため。					
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】		21年度は、「多摩川の自然を安全に楽しむための講座事業」「よりよい地域のコミュニティを作る事業」「あいさつポスター制作事業」の3事業を選定し実施した。			
	 <p>多摩川の自然を安全に楽しむための講座事業の様子</p>		<p>「多摩川の講座事業」では、多摩川をより区民に知ってもらい、身近に活用する手段として、自然の中の安全講座(川のレスキュー講義・陸の安全講習)、カヌーによる実践講座、救命講座を開催した。「地域コミュニティ事業」では、よりよい地域コミュニティを形成するため、新しい武蔵小杉の住民と今までの住民の親睦を、講演会・お茶会を通じて図った。「あいさつポスター制作事業」では、まちづくり推進委員会との協働により、ポスターを作成した。</p>			
			実施時期 (開催日/回数等)		参加 人数等	

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
市が推進する「市民と協働」を協働型事業のルールに基づき実施することは、市民自治の観点から重要である。また、地域の課題を地域特性や区民の目線から洗い出し、協働の手法により解決することは、区が実施する協働推進事業のモデルケースとしても重要である。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	事業の選定方法、協働の手法などを見直しの上、より効果的な事業の実施を目指す。従来の事業提案型(区民が区民目線で地域の課題を発見し、行政と協働により解決を図る手法を提案するもの)に加え、事業実施団体募集型(区民会議などから提案された地域課題の解決に向けた活動をする団体を募集するもの)を実施する。	A

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

区民会議からの主な意見

--

平成21年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
6 - 9	市民活動の事例紹介を通じた区の魅力発信事業	継続	H20	企画課

1 事業概要

事業実施主体	中原区役所		対象者	区民		当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他( )	関連事業局 ・事業内容				
目的及び内容	<p>区内の課題解決に向けた取り組みを行っている市民活動団体を取り上げ、広く区民に広報することにより、地域の資源である市民活動を支援する事を目的とする。</p> <p>区の課題解決に向けた取り組みを行っている市民活動団体を取材し、広報ビデオ作成を行う。作成したビデオは区の事業などで活用を図る。</p>					
予算額	711,000(円)	決算額	656,250(円)	不用額	54,750(円)	
不用の理由						
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】		<p>「環境問題を考えるビデオ映像」及び「区の見どころ紹介ビデオ」の2本を作成した。地域で活動する団体の紹介や、区民会議での議論を踏まえた編集などにより、区の課題解決に向けた取り組み進めることが出来た。</p>			
	 (区内の見どころ紹介ビデオ)		実施時期 (開催日/回数等)	通年	参加 人数等	

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
<p>区の課題解決に向けた取り組みを紹介できたことは評価できる。また、区民会議との連携を進めることが出来た。市民活動の紹介という点では、各地域で活動を行っている団体に焦点をあてる事により、活動の活性化を図ることが出来た。</p> <p>しかしながら、費用対効果で考えると取材・映像作成・編集費用が高く事業の継続は難しいように思われる。</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	今後については、必要に応じビデオ映像の作成を検討する。	

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

区民会議からの主な意見

--

平成21年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
6-10	中原オープンカフェ事業	新規	平成21年度	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	中原区音楽ライブ実行委員会		対象者	一般区民		当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他( )	関連事業局 ・事業内容				
目的及び内容	屋外でカフェの運営とあわせて中原区と関わりのあるミュージシャン等による音楽ライブを開催し、商店街や駅の利用者と周辺住民との間で音楽をきっかけとした交流を図ることを目的とする。					
予算額	985,000(円)	決算額	984,986(円)	不用額	14(円)	
不用の理由						
結果・成果	 <p>新丸子駅前オープンカフェ</p>		<p>2月に新丸子駅前広場で商店街と連携して地元に住む高校生バンドなどが出演し、オープンカフェを開催した。</p> <p>3月にも横須賀線武蔵小杉駅開業イベントとあわせてオープンカフェを開催し、音楽をきっかけとした新たに中原区の住民になった方も巻き込んだ交流づくりを行った。</p>			
			実施時期 (開催日/回数等)	2月20日 3月13日	参加 人数等	

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
<p>商店街と連携し、地域にゆかりのあるミュージシャンが出演したオープンカフェは音楽をきっかけとした地域・世代間交流に効果があり、横須賀線武蔵小杉駅開業イベントと合わせて開催したオープンカフェは、再開発等で増加しつつある新たに中原区民となった方々との交流を図る一助となった。</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	本事業は上記のような成果が得られたため終了する。	

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

区民会議からの主な意見

--

平成21年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
7-1	中原区協働推進事業 一般経費	継続	H14年度	企画課

1 事業概要

事業実施主体	企画課		対象者			当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他( )	関連事業局 ・事業内容				
目的及び内容	協働推進事業の実施に必要な事務用品等の購入、複写品費、郵送などに経費の支出を行う。 また、区のシンボルマーク及び区の花パンジーのマークを区民に周知するため、同マーク入り封筒の製作を行う。					
予算額	1,152,000(円)	決算額	987,560(円)	不用額	164,440(円)	
不用の理由	紙書類の電子化等を心掛けたため、複写品費が下がった。					
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】 		資料送付等に使用する、区のシンボルマーク及び区の花マーク入りの封筒を10,000枚(長3:5,000枚、各2:5,000枚)作成 各課窓口の受付番号案内用ロール紙の購入 カラー用紙やプリンタ用インクカートリッジ等の事務用品の購入。 複写品、郵送料への支出			
	(シンボルマーク入り封筒)		実施時期 (開催日/回数等)		参加 人数等	

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
区のシンボルマーク及び区の花マーク入り封筒は、区役所各課で使用され、同マークのPRに役立った。各事業に使用する事務用品を購入することで、円滑な事業執行に寄与した。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	協働推進事業の執行に必要な、事務用品費、複写品費、郵送料を引き続き調達する必要があるため、次年度以降も現状どおり事業を実行する。	C

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

区民会議からの主な意見

--